



秋田住宅流通センター 代表取締役社長

北嶋 暢哉 氏

地域のために「感謝の輪でしあわせを結ぶ」

賃貸住宅管理、不動産などを手がけ、秋田、横手の両市に計8店舗を展開する。

昨年7月に秋田市の赤れんが館通りに開設した「大町ビル」は、賃貸住宅経営全般に対応する部署を集めた新拠点だ。「リノベーション事業をはじめ、さまざまな局面でオーナーさまとの連携を密に

し、物件の資産価値向上を目指すことを目的として新拠点を設けました」と説明する。

「お部屋探しはネットでのリサーチがスタンダードとなっていることを踏まえ、『秋田賃貸ナビ』の運営にも力を

入れれています」。「秋田中央」をウェブ戦略の拠点と位置付け、オンラインの内見や

重要事項説明、契約手続きに対応。ウェブ会議システムや電子書面を活用し、非対面でやり取りできるようにしている。県外から転居する場合、

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

や悩みに寄り添い、将来の選択肢について丁寧に説明するよう心がけています」

「秋田中央」からDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

重要事項説明、契約手続きに対応。ウェブ会議システムや電子書面を活用し、非対面でやり取りできるようにしている。県外から転居する場合、

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

来県する回数を減らすことができる」と好評だ。「利用者のニーズを捉えて、できることからDX化を進めます。社内でのDX化は確実に進化して

「若い社員が増え、後輩を育てようとする風土が醸成されてきました」と喜ぶ。昨年初めて策定した「事業発展計画書」には、客による迷惑行為「カスタマーハラスメント」対策を明文化した。「業界では珍しい取り組みです。従業員を守り、人材定着につなげるために必要だと考えました」と狙いを語る。

会社のミッションは「感謝の輪でしあわせを結ぶ」。「社員の成長を原点として感謝の輪を広げていきます。お客さまに的確な情報を提供し、オーナーの皆さまに安定経営と資産価値向上につながる提案を行って地域に貢献したい。それが、働きがいを感じられる職場づくりにつながると考えています。皆さまに喜んでいただける事業展開を追い求めていきます」



秋田市大町の赤れんが館通りに立地する拠点「大町ビル」

秋田住宅流通センター

株式会社 秋田住宅流通センター
〒010-0951 秋田市山王7丁目9-35
TEL.018-864-4717(総務・秘書課)
1980年4月10日創業
資本金:1500万円、従業員数:80人
賃貸住宅管理業、不動産業

